

1 事例で学ぶ遺言作成のポイント

事例3 将来起こりうる可能性を考慮する

- ・父が61歳で死亡。自宅は母が相続
- ・金融資産は少額
- ・一人暮らしの母を心配し、二女家族が母と同居。
その後、老朽化した家屋を、二女の夫が建て直した。
- ・母が所有土地を二女の夫に遺贈したい意向を示す

ポイント：

- ①預貯金は少額のため、相続財産をほとんど承継できない長女と三女の思い
- ②遺留分侵害額請求があった時の、夫の支払い能力
- ③二女と夫の夫婦関係が悪化することの可能性
- ④付言で母の思いを実現する

